



**カケハシ・プロジェクト（米国／カナダ）
日本語弁論大会成績優秀者招へい（米国）
日本語学習者招へい（カナダ）の記録**

1. プログラム概要

【目的・概要】

米国・日本語弁論大会成績優秀者 10 名、カナダ・日本語学習者 5 名を日本への理解促進を目的とし、招へいしました。東京都や神奈川県での視察、愛知県でのホームステイや学校交流等を通じて、活発な人的交流を行うだけでなく、日本の魅力も発信しました。

【参加者】 米国・日本語弁論大会成績優秀者及びカナダ・日本語学習者（大学生） 計 15 名
（内訳）米国 10 名、カナダ 5 名

【訪問地】 東京都、神奈川県、愛知県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

1 月 30 日（木曜日） **【来日前（渡航前）オリエンテーション】** 事業目的・ミッション、日程説明、
渡航上の注意、感染症対策等
来日までの指定期間 **【動画視聴】** 日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

2 月 5 日（水曜日） 成田国際空港及び羽田空港より入国
2 月 6 日（木曜日） **【来日後オリエンテーション】**
【視察】 日本科学未来館
【視察】 原宿（日本のポップカルチャー）・明治神宮
【表敬訪問】 内閣官房副長官 橋 慶一郎 氏
2 月 7 日（金曜日） **【視察】** 三溪園
【学校交流】 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター（IUC）
神奈川県から愛知県へ移動
2 月 8 日（土曜日） **【文化体験】** 茶道
【ホームステイ対面式】
【ホームステイ／ホームビジット】 愛知県名古屋市
2 月 9 日（日曜日） **【ホームステイ／ホームビジット】**
2 月 10 日（月曜日） **【学校交流】** 東邦大学付属東邦高等学校・東邦大学
愛知県から東京都へ移動
2 月 11 日（火曜日） **【ワークショップ（報告会準備）】** 訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画

(アクション・プラン) の作成
【報告会】 訪日成果・帰国後の活動計画発表
 成田国際空港及び羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム

	
2025 年 2 月 6 日【視察】明治神宮	2025 年 2 月 6 日【表敬訪問】 内閣官房副長官 橋 慶一郎 氏
	
2025 年 2 月 7 日【視察】三溪園	2025 年 2 月 7 日【学校交流】アメリカ・カナダ大 学連合日本研究センター (IUC)
	
2025 年 2 月 8 日【文化体験】茶道	2025 年 2 月 8 日【ホームステイ対面式】

	
2025 年 2 月 9 日【ホームステイ】名古屋市	2025 年 2 月 10 日【学校交流】東邦高校
	
2025 年 2 月 11 日【報告会】	2025 年 2 月 11 日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 米国 大学生

このプログラムで最も印象的だったのは茶道体験でした。茶道体験に茶室で参加したのは初めてでしたが、日本の伝統文化や「一期一会」という言葉の意味を理解することができました。

◆ カナダ 大学生

私のホームステイの家族は信じられないほど親切で、私を歓迎してくれました。生まれて初めて伝統的な畳の部屋に布団を敷いて泊まり、とても楽しかったです。ホームステイの家族の皆さんは、私ができるだけ多くの新しいことを経験できるように配慮してくれました。学校交流もとても楽しかったです。高校生の行儀の良さには驚かされ、私の高校生活とは大違いでした。

◆ カナダ 大学生

私のお気に入りの場所の一つは、間違いなく三溪園でした。なぜなら、様々な建物が自然と一体化していたからです。例えば茶室は、木々の近くにある小さなスペースに建てられていました。また、庭園内には沢山の水の流れがあり、どこでも水の音を聞くことができました。私は、川の音がとても好きなので、写真を撮ったりガイドの説明を聞き、リラックスすることができました。

もう一つ印象的だったのは、橘慶一郎内閣官房副長官との面会でした。私たちが日本文化について学んでいるのと同じように、橘氏が学んだ英語圏文化について日本人の視点から話を聞くのはとても興味深かったです。日本人がヨーロッパ（あるいは北米）の国へ渡航する前後での欧米人に対する考え方の変化を知ることができました。外国の文化に「身をさらすべき」という彼のアドバイスは正しいものだと感じていて、この 1 週間私はそれを心に刻んでいました。最終的な目標は日本語を流暢に話し、文化を深く学ぶことです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

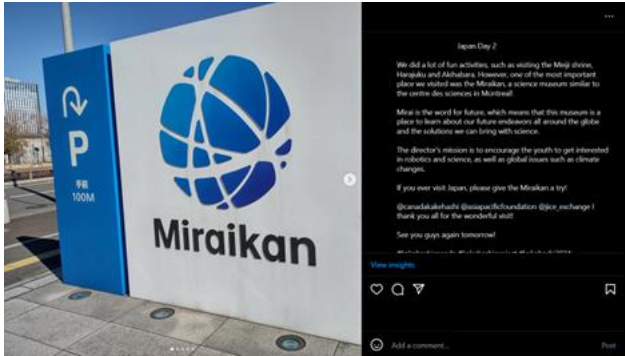
◆ 交流先関係者

日本語のスキルを、今後どのようにして役立たせながら将来設計を描くのか、という点で、本校の学生の「先輩」としての経験、知識が役立ったのではないかと感じています。参加者と世代的にも重なるため、遠慮なく率直な意見交換ができたように思いました。様々な背景を持ち、日本関係の専門職に就くという目標を共有する本校学生の特徴を活かすイベントになっているように思います。

◆ ホストファミリー

娘ととても仲良くしていただき、楽しく過ごせました。お互い片言の英語・日本語での会話だったため、うまく通じないこともありましたが、なんとか頑張って伝えることができたと思います。また機会があればホストファミリーをやりたいです。

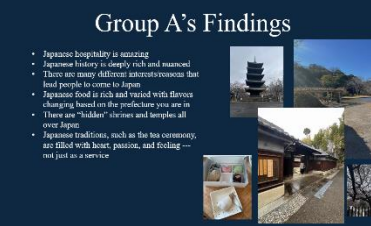
5. 参加者の対外発信（抜粋）

 Day 2: Pt. 1 The first full day of the trip began with a lovely traditional Japanese breakfast. It was buffet style, so I tried a bit of everything so I could truly get the full experience. The food here has been truly amazing so far!! After that, we had a short orientation, and then we were off to Miraikan, a science and technology museum. My favorite things were the Keppa Keppa robot and Paro, the seal, but they had a lot of interesting exhibits discussing the future of technology and the impact technological advancement can have on our planet's climate and ecosystems. #Japan #日本 #kakehashi2024#exchange#japantrip#Kakehashiproject @jice_exchange	 Japan Day 2 We did a lot of fun activities, such as visiting the Meiji Shrine, Hagiyama and Delusion Museum, one of the most important places we visited was the Miraikan, a science museum similar to the Centre des sciences in Montreal. Miraikan is the word for future, which means that this museum is a place to learn about our future endeavors all around the globe and the solutions we can bring with science. The director's mission is to encourage the youth to get interested in robotics and science, as well as global issues such as climate change. If you ever visit Japan, please give the Miraikan a try! @kakehashi2024#exchange#japantrip#Kakehashiproject @jice_exchange See you again tomorrow!
2024 年 2 月 6 日（Instagram） 米国 大学生 初日は伝統的な日本食の朝食から始まりました。色々なメニューを少しずつ試してみましたが、どれも本当にすばしかったです！ その後、日本科学未来館に向かいました。私はケッパケッパというロボットなどが気に入りましたが、その他にも日本科学未来館には科学技術の未来や進歩が地球の気候や生態系に与える影響について、興味深い展示がたくさんありました。	2025 年 2 月 6 日（Instagram） カナダ 大学生 明治神宮など色々楽しい場所がありましたが、最も面白かった場所のひとつは日本科学未来館です。ここはモントリオールの科学センターのような所です！未来館はその名が示す通り、未来への取組と科学がもたらす解決策を学ぶところです。青少年がロボット工学や科学、そして気候変動などの地球規模の問題に興味を持つよう作られています。 日本を訪れることがあれば、ぜひ日本科学未来館を訪れてみてください！

 another beautiful day 🌸 ☀️ spent the morning walking around sankeien garden and learning about the history of the relocated buildings saved from destruction-by-earthquake! then we met with students from IUC to explore what it could be like studying japanese in order to work or participate in graduate study in japan. 🚄 then i rode on shinkansen for the first time!! i also tried onigiri from japan for the first time and it was so good for like a dollar... never buying fattyboy sandos \$8 onigiri again lol. when we got to nagoya it was snowing!! we ended the night warming up in the hotel's onsen and it was amazing.	 It has been an incredible week with the Kakuhashi Program #Kakuhashi2025. I was deeply delighted to visit the science museum and see advanced robots that I had only read about in textbooks. Exploring the magnificent Meiji Jingu Shrine was equally fascinating—I learned about the intricate etiquette of shrine visits, including how to purify one's hands and mouth, bow, clap, and pray respectfully. 🙏 It was also a great privilege for me to speak with Mr. Keiichi Tachibana, the Deputy Chief Cabinet Secretary of Japan, and to represent the American team by asking him a question. 🇺🇸 🇯🇵 Additionally, I had the opportunity to visit Senkaden Garden in Yokohama, where I admired ancient Japanese architecture and traditional-style rooms. In Nagoya, I participated in a serene tea ceremony at Kishō-ji Temple, which deepened my understanding of ichi-go ichi-e, treasuring each unique moment. 🍵 A heartfelt thank-you to my host family in Aichi for their warm hospitality. Although our time together was short, the experience was unforgettable, and you will always be my Japanese family. 🇯🇵 Finally, I want to sincerely thank @consulategeneralofjapaninmiami and @jice_exchange for this life-changing opportunity. I hope to continue deepening my understanding of Japan and its culture, and I aspire to serve as a bridge between the U.S. and Japan—just as the Kakuhashi Program's name symbolizes.
2025 年 2 月 7 日 (Instagram) 米国 大学生 午前中は三溪園を散策し、震災の被害を免れて移築された建物の歴史について学びました！IUC では日本で働いたり大学院で学ぶために必要な日本語について話を聞きました。 そして初めて新幹線に乗りました！日本のおにぎりを初めて食べましたが、1 ドルくらいなのにとっても美味しかったです。名古屋は雪が降っていました。夜はホテルの温泉で温まりました。	2025 年 2 月 11 日 (Instagram) 米国 大学生 日本科学未来館を訪問し、教科書でしか見たことのないような先進的なロボットを目の当たりにして大喜びでした。明治神宮では神社の参拝の仕方も学びました。また、米国の代表として表敬訪問で質問をできたことは大変光栄なことでした。横浜の三溪園では日本の伝統的な建築を觀賞し、名古屋の興正寺では茶道体験をし、「一期一会」という言葉の意味を理解することができました。ホストファミリーの温かいおもてなしに心から感謝しています。この経験は忘れられません。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、神奈川県、愛知県 全 3 グループ発表

グループ A（米国）		
		
【成果の発表】 ◆ 訪日中の気付き： 日本には深く豊かな歴史があり、茶道など日本の伝統には深い思いが込められていること、また地域により日本食も多様であること、これらに基づく「おもてなし」の素晴らしさを学びました。 ◆ 個人的展望： ・ JET プログラム（注）に参加して ALT（外国語指導助手）になること （注）JET プログラム：「語学指導等を行う外国青年招致事業」（The Japan Exchange and Teaching Programme）		

- ・ IUC のコースに参加すること
 - ・ 日本の大学や企業の研究者との共同研究すること
 - ・ 京都アメリカ大学コンソーシアム（KCJS）を通じて同志社大学に留学すること
 - ・ 今回得た学びを将来の異文化間精神・神経遺伝学の研究プロジェクトに取り入れること
- 【アクション・プラン】（個人で実施）
- ・ 帰国したら大学のクラスや日本語クラブで私が日本で経験したこと、発見したことを発表し、日本や日本文化への関心を高める機会をつくりまします。
 - ・ 自分のホームページで今回の旅の感想やカケハシ・プロジェクト、日本全般について紹介します。
 - ・ 2月12日にニューヨーク市で行われる NECTJ 米国北東部日本語教師会でのイベントでカケハシ・プロジェクトのプロモーションをします。
 - ・ 今回の旅で撮った写真を基にアート作品を作って SNS で発信し、日本の美しさを紹介し、日本語や日本文化に興味を持ってもらいたいと思っています。
 - ・ SNS やブログで今回の旅での発見を写真やビデオで投稿をしたり、大学の公式ウェブサイトの記事を投稿する予定です。

グループ B（米国）



【成果の発表】

◆ 訪日中の気付き：

日本へ渡航し、生活レベルで多くの発券がありました。デザイン性の高いマンホールの蓋、渋滞情報やニュースを聞く際に便利な自家用車に搭載されたテレビ、便座が温かく、節水機能を搭載したトイレなどです。また自然災害の模擬体験も有益でした。

茶道の優雅な動きには、目的と意味があり、茶道は五感で味わうもの、一期一会であることも分かりました。茶室は意図的にその入口の高さを低くし、その中では皆が平等で穏やかで静かな世界を共に楽しむことができるように設計されていることも学びました。

◆ 個人的展望：

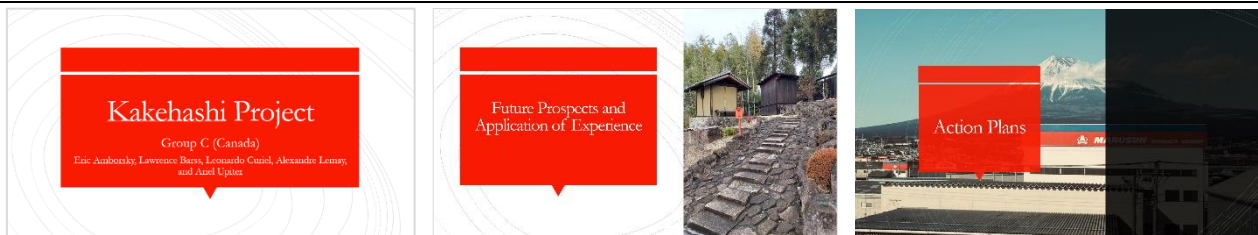
- ・ 今回のプログラムで異なる文化の物事や人との関わり方、新しい観点を学んだので、それらの経験や日本語の知識を活かして米国で医師になりたいと思います。
- ・ 心理学やメンタルヘルスに関心があるので、これらの災害対応への応用方法を学んでいきたいと思っています。
- ・ 日本のドキュメンタリーフィルムを製作し、多くの人に日本のことをもっと知ってもらいたいと思います。
- ・ 地域の方々に日本文化についてもっと知ってもらう活動をしたり、より多くの米国人に日本の魅力を伝えられるようなイベントを企画したりしたいと思います。また夏には立命館大学に留学する予定です。
- ・ 国費外国人留学生制度（MEXT Scholarship）に応募します。その後 JET プログラムと日本の大学院に応募します。

- ・ 最終的な目標は、データサイエンスと日本語のダブルメジャーを活かして、いつか日本で働くことです。

【アクション・プラン】（全員で実施）

- ・ SNS での発信
- ・ 学校での報告会
- ・ 学校でのインタビュー
- ・ スピーチコンテストでのプレゼンテーション
- ・ グループ・ブログでの発信

グループ C（カナダ）



【成果の発表】

◆ 訪日中の気付き：

感銘を受けたことは、交通機関が待ち時間も短く、スピードも速いので大変便利であること、緊急事態・自然災害への周到な備えをしていること、日本人が誰に対しても親切で「おもてなし」の心をもっていることです。

日本では、日本の歴史や伝統文化を大切にし、守っていることが分かりました。

日本科学未来館の展示はとても学びに富んでいて、私たちの心や体がどのように機能しているかを考えさせられました。

◆ 個人的展望：

- ・ 地元の日本文化センターのボランティアとして活動します。
- ・ 授業で学んだ異文化交流をホームステイを通して体験できたので、将来は外交や国際関係の仕事につくことを考えています。
- ・ JET プログラムに応募するつもりです。
- ・ 交換留学で日本の大学へ行き、将来は日本で働くつもりです。

【アクション・プラン】（個人で実施）

- ・ 家族や友人に今回の旅行の写真を紹介します。
- ・ 日本語の授業で日本での体験をプレゼンしたいと思います。
- ・ SNS への投稿を通してより多くの人に日本での経験を紹介します。
- ・ 大学の新聞にカケハシ・プロジェクトについての記事掲載を企画します。
- ・ バンクーバー日本語ホールでボランティアとして活動します。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）